

年末のご挨拶

(社)全国治水砂防協会
理事長 大久保 駿

平成 14 年も終わろうとしています、会員の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年も皆様方には、砂防事業の進展のため、あるいは砂防協会の発展のため種々ご支援ご指導を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

さて、平成 15 年度予算の政府案がとりまとめられましたので、概要をお届けいたします。すでにご承知のとおり、平成 14 年度に引き続き公共投資全体が抑制されたものとなっており、砂防事業につきましても例外ではありません。しかしながら、会員の皆様方の砂防事業の必要性についてのご意見、切実な訴えは沢山の皆様方にご理解を得られてきたものと思ひ、また、砂防部のご努力と合わせて心より感謝申し上げる次第であります。

砂防などの国民の生命・財産を護る仕事は、限られた予算の中であっても、手を緩めず着実にかつ迅速に進めておかなければなりません。この 1 年、皆様方との意見交換を通じてこのことを痛感した次第であります。事業の促進のための努力はさらに言う必要もありませんが、事業の進め方になお一層の努力と工夫が必要ではないかと思っています。砂防協会も砂防の進展のため、その役割を遂行していく所存であります。引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。

この 1 年、大変ご支援いただきましたことに御礼申し上げ、年末のごあいさつと致します。良き新年を迎えられますようにお祈り申し上げます。